

2026 年度東京学生柔道体重別選手権大会(男子 45 回 女子 42 回)大会要項

- 1、大会名 2026 年度 東京学生柔道体重別選手権大会(男子 45 回 女子 42 回)
(兼 全日本学生柔道体重別選手権大会予選、兼 全日本学生柔道体重別団体優勝大会予選)
- 2、主催 東京学生柔道連盟
- 3、後援 (公財)日本武道館、(公財)講道館、(公財)東京都柔道連盟、(一社)全日本学生柔道連盟
- 4、日時 2026 年 9 月 6 日(日)
男子 7 階級 (60kg 級、66kg 級、73kg 級、81kg 級 90kg 級、100kg 級、100kg 超級)
女子 7 階級 (48kg 級、52kg 級、57kg 級、63kg 級、70kg 級、78kg 級、78kg 超級)
開場：午前 8 時 00 分 開会：午前 9 時 00 分
- 5、会場 日本武道館
- 6、競技規則
イ、参加資格 公益財団法人 全日本柔道連盟並びに本連盟の加盟校の在籍者に限る。
(2026 年 4 月 1 日以降、実業団、その他の職域チームに属して試合に出場した者は参加資格が無い)
男子 7 階級 (60kg 級、66kg 級、73kg 級、81kg 級、90kg 級、100kg 級、100kg 超級)
女子 7 階級 (48kg 級、52kg 級、57kg 級、63kg 級、70kg 級、78kg 級、78kg 超級)
に該当するもので、計量に合格した者に限る。
2 年次においては 1 年次の修得単位数が **20 単位以上**の者。
3 年次においては 1. 2 年次の総修得単位が **50 単位以上**の者。
4 年次においては 1, 2, 3, 年次の総取得単位が **80 単位以上**の者。
但し、特例措置対象者を除く。
ロ、試合方法 試合は階級ごとのトーナメント方式にて実施、試合時間は男女ともに 4 分間とする。
ハ、審判規定 試合は国際柔道連盟試合審判規定によって行う。細目は審判員会議で申し合わせる。
ニ、柔道衣 (公財)全日本柔道連盟柔道衣規定に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用すること。
ゼッケン 出場選手は所定のゼッケンを柔道衣に付ける。(詳細は別紙)
紅 白 紐 試合に出場する人数分を各大学で用意する。
- 7、各校出場枠
《男 子》
イ、出場選手の総数
1 校につき出場選手の総数は当年度東京学生柔道優勝大会出場校 16 校及び、それ以外の加盟校で全日本学生柔道優勝大会出場の選考対象となった 3 校が 14 名以内とし、前記の計 19 校以外の参加校は 7 名以内とする。
ただし、昨年度全日本学生柔道体重別選手権大会出場者が同階級に出場する場合は枠外とし、上記の制限に含まない。
ロ、1 階級の制限
男子 1 階級は 5 名以内。ただし前記の通り昨年度全日本学生柔道体重別選手権大会出場者が選手総数の枠外として出場する場合は、1 階級の制限は 8 名以内とする。
《女 子》
1 校につき出場選手の総数は当年度東京学生柔道優勝大会女子一部出場校が 14 名以内、その他の参加校が 7 名以内とする。ただし、各階級の人数制限は設けない。
ただし、昨年度全日本学生柔道体重別選手権大会出場者が同階級に出場する場合は枠外とし、上記の制限に含まない。
- 8、推薦選手規定 推薦選手の基準は以下とし、該当する選手は今年度全日本学生柔道体重別選手権大会出場者として、

『イ、(一社)全日本学生柔道連盟』および『ロ、東京学生柔道連盟』より推薦される。

《男 子》

イ、(一社)全日本学生柔道連盟からの推薦選手

①昨年度優勝者及び準優勝者は主催者推薦とする。ただし、該当者が出場しない場合は各地区枠に充当できる。

②今年度世界選手権大会に日本代表として出場する学生は、主催者推薦とする。

また、日本代表以外の当連盟登録選手についても、世界選手権大会に出場する場合は、主催者推薦とする。ただし、この条件で推薦を得た選手の大会出場の表明は申込締切日までとする。

ロ、東京学生柔道連盟からの推薦選手

(当連盟からの全日本学生柔道体重別選手権大会出場枠数に含まれる。)

- ・昨年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会優勝者(同階級とする)
- ・今年度全日本選抜柔道体重別選手権大会優勝者(同階級とする)
- ・今年度全日本柔道選手権大会ベスト4以上(東京大会申込締切迄に出場階級を申告)
- ・昨年7～本年6月末に開催された国際大会(ワールドマスターズ・GS・ユニバーシティゲームズ)で優勝し理事会において承認された選手(同階級とする)

※基準を満たす選手がいる場合、7月の定例理事会の1週間前までに事務局へ連絡をすること。
また、全日本柔道連盟から派遣された世界的規模の国際大会日程が東京学生柔道体重別選手権大会の開催日と重なる場合に関しては当該国際大会の結果に拘わらず、理事会で検討する。

《女 子》

イ、(一社)全日本学生柔道連盟からの推薦選手

①昨年度優勝者及び準優勝者は主催者推薦とする。ただし、該当者が出場しない場合は各地区枠に充当できる。

②今年度世界選手権大会に日本代表として出場する学生は、主催者推薦とする。

また、日本代表以外の当連盟登録選手についても、世界選手権大会に出場する場合は、主催者推薦とする。ただし、この条件で推薦を得た選手の大会出場の表明は申し込み締め切り日までとする。

ロ、東京学生柔道連盟からの推薦選手

(当連盟からの全日本学生柔道体重別選手権大会出場枠数に含まれる。)

- ・昨年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会優勝者(同階級とする)
- ・今年度全日本選抜女子柔道体重別選手権大会優勝者(同階級とする)
- ・今年度皇后盃全日本女子柔道選手権大会優勝者(東京大会申込締切までに出場階級を申告)
- ・昨年7～本年6月末に開催された国際大会(ワールドマスターズ・GS・ユニバーシティゲームズ)で優勝し理事会において承認された選手(同階級とする)

※基準を満たす選手がいる場合、7月の定例理事会の1週間前までに事務局へ連絡をすること。
全日本柔道連盟から派遣された世界的規模の国際大会日程が東京学生柔道体重別選手権大会の開催日と重なる場合に関しては当該国際大会の結果に拘わらず、理事会で検討する。

9、選手計量 【男子】9月5日(土)

グループ①計量14時30分～15時00分(一回限り)

グループ②計量15時00分～15時30分(一回限り)

場 所 講道館5階道場

※本計量前30分間は仮計量時間として体重計を開放しています。

【女子】9月5日(土)

グループ①計量14時30分～15時00分(一回限り)

グループ②計量15時00分～15時30分(一回限り)

場 所 講道館2階第4会議室

※本計量前30分間は仮計量時間として体重計を開放しています。

※採用試験における計量時間の延長について

原則として、採用試験等において正規の公式計量の時刻に間に合わない場合8月16日(土)までに
主管事務局まで必要書類を提出することにより、計量時間の延長(1時間)が認められる。

※必要書類とは、採用試験を実施する機関からの通知文のコピー等をいう。

- 10、表 彰 男女共各階級3位までの入賞者(56名)を表彰する。
- 11、審 判 員 審判員は1試合場3組9名とし、8試合場72名によって行う。
- 12、参加申込
- イ、受付期間 WEB申込期間 2026年8月3日(月)～8月5日(水) 17:00まで
書類提出期間 2026年8月6日(木)～8月7日(金) 17:00まで
※提出方法:メール
※上記の申込期間、受付時間外の申し込みは認められない。
- ロ、申込先 〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-30 講道館2階 東京学生柔道連盟
TEL 03-6240-0048 FAX 03-3818-1960
- ハ、申込方法 申込責任者は各大学監督とし、WEBにて申し込みを行い、下記の書類を提出する。
・参加選手の在学証明書並びに健康診断書(発行3ヶ月以内)
→郵送orメール
※但し、1年生のみ在学証明書の提出を行うこと。
健康診断書は選手全員必須。また、在学証明書・健康診断書ともに原本を提出。
※上記の申込書類すべてを提出しなければ申し込みは認められない。
- 二、参加費 参加選手1名につき3,000円とする。
【3,000円×参加選手数】を下記の指定銀行に振り込む。
※参加費は振り込みのみとし、それ以外は一切受け付けない。参加費の振込期限は
2026年8月7日(金)正午とし、振り込みが確認出来ない場合は
本大会の参加は認めない。
※推薦選手は参加費を必要としない。
《振込先》みずほ銀行 東京中央支店(普通) 6795245
東京学生柔道連盟 会長 金野 潤
- ホ、選手変更 選手の変更をする場合は、本連盟事務所にて所定の日時までに手続きを行う。
日 時: 2026年8月13日(木) 17:00までとする。
※選手変更は同一階級に限り認める。変更後選手の健康診断書・在学証明書・
変更前選手の辞退理由書(怪我・病気の場合は診断書も添付)を必ず提出。
※なお、選手以外(監督・指導者・主務)の変更8月16日(日)までとする。
- 13、抽 選 2026年8月15日(土) 10時00分～ オンライン
女子48kg級から男子100kg超級までを順に行う。
- 14、審判員会議 2026年9月4日(金) 18時00分～ オンライン
- 15、監督会議 2026年9月4日(金) 19時00分～ オンライン
大会上の注意事項の伝達を行うので、申込時に登録した監督または指導者が出席する。
- 16、安全対策
- イ、主催者は大会出場選手に対する傷害保険に加入するとともに、指定救急病院を手配する。
ロ、試合場に医師を配置し救急処置を施すが、それ以上の責任は負わない。
ハ、大会当日、参加者は次の①から②のいずれかを必ず持参すること。
①マイナ保険証の写真またはコピー
②健康保険資格確認書の「資格情報」の写真またはコピー
- 17、そ の 他 ①今年度全日本学生柔道体重別選手権大会の出場者については、東京大会申込時の人数を確認後、主催者側にて各階級の人数を決定する。
②今年度全日本学生柔道体重別団体優勝大会(男子・女子)の本連盟代表校を選考するにあたっては今大会の結果(成績)をポイント化し、決定する。(詳細は別紙)
《皮膚真菌症について》

皮膚真菌症(トンスランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認する。感染が疑わしい、もしくは感染が認められた選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行う。もし選手に皮膚真菌症の感染が認められた場合は、大会への出場を禁止する。(ただし、2週間以内の治療証明書がある場合は、出場を認める)

《個人情報取り扱いについて》

- web での申込に記載された個人情報、大会中に撮影された写真、または動画が、大会プログラム、大会ホームページに掲載される場合があります。また、その他の報道機関等により、新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合があります。
- 提出された個人情報については、上記の利用目的以外に使用することはありません。
- web での申込により、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応をさせていただきます。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策については決定次第通知する。
- **要項は変更する場合がございます。**